令和元年度　放課後活動指導者研修　実施報告②

実施日：令和元年 6 月 19 日（水）

○演習「子どもの遊びの理解と支援～子どもの活動プログラムを体験しよう～」

今回は、身近な材料を活用したクラフト活動とレクリエーションの演習を行いました。研修を通して、体験活動の楽しさや大切さ、指導する際のポイントなどを確認していただきました。今回の内容にアレンジを加え、今後の活動に取り入れたいという声も聞かれました。

「小枝のマスコットづくり体験」
栃木県太平少年自然の家　社会教育主事　櫻井　竜彦　氏

栃木県立太平少年自然の家から講師を迎え、「小枝のマスコットづくり」を行いました。材料と作り方の説明の後、好きな材料を選んでマスコットを作りました。それぞれが小枝の形を生かした素敵な作品を仕上げ、できたマスコットをうれしそうに見せ合っていました。

創作活動の楽しさを味わうとともに、子どもたちと一緒に活動する際のイメージをもつこともできたようです。

★ 受講者の声 ★
- 自然物を使って創作できるところが良いと思いました。材料探しからできたら、より楽しい活動になりそうです。
- 自然の材料なので一つ一つ味わいがあり、想像力を生かして創作できることがわかりました。
- 材料にこだわらず、いろいろなものを使用できると思いました。

「明るく！楽しく！レクリエーション」
日本レクリエーション協会コーディネーター　枝　俊男　氏

レクリエーション活動の普及や、子どもを相手に熱心に指導をされている枝さんを講師に迎え、身近な物を使ったレクリエーションを体験しました。お手玉やコップ、こまを使ったプログラムやボッチャなどの様々な活動を、童心に返って楽しむ様子が見られました。

考えながら遊べる内容の工夫や、声かけの仕方など今後の活動へのヒントをいくつも得られたようです。

★ 受講者の声 ★
- 体を動かすと、声を出して笑えることが実感できました。子どもたちにとっても良いことだと思います。
- レクリエーションは、進行の仕方で楽しさが大きく変わってくると思いました。
- 楽しいだけでなく、競い合ったり無理しすぎない程度に頑張ったりして、コミュニケーションをとりながら経験することが大切だと改めて感じました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206　　e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp